

哲学の世界

責任者・コーディネーター	人間科学科哲学分野 林 研 准教授		
担当講座・学科(分野)	人間科学科哲学分野		
担 当 教 員	林 研 准教授、三浦 康宏 助教		
対 象 学 年	1	区分・時間数 (1コマ2時間換算)	講義 20 時間
期 間	後期		

・学修方針（講義概要等）

「人間とは何か」という問いに対して、自然科学や社会科学は人間の持つ一つの特性に着目し、それを解明することでこの問いに答えようとする。例えば、生物学であれば、遺伝子構造の観点から人間と他の動物の違いを説明し、経済学であれば、経済行動という観点から人間を説明する。他方、哲学は、こうした諸学の成果を踏まえながら、専門領域横断的に、トータルな人間の姿を描き出そうとする。

「哲学の世界」では、このような哲学の試みの一つとして、心と身体、性、進化等をキーワードに、人間とはどのような存在なのかについて考える。

・教育成果（アウトカム）

「人間とは何か」という問いを導きの糸とし、諸科学の知見を参照しながら、人間という概念を組み立て直すことで、人間についての理解を深めることができる。また、そうして得られた人間についての理解を、現実の問題（死の基準、性差別など）に適用し、これらの問題に対して、合理的な根拠に基づいた自分なりの視座を形成することができる。（ディプロマポリシー：1、4、9）

・到達目標（SBO）

- 1.人間の生や死を考える上で重要な概念（心、身体、性差、幸福）を説明することができる。
- 2.人間とは何かについて、自分なりの考えを提示することができる。
- 3.人間についての自分の考えと、現実の問題とを関係づけることができる。
- 4.人間の健康と幸福に性など様々な多様性がどう関係するかを説明することができる。

・ 講義日程

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容/到達目標
9/4	木	2	哲学分野	林 研 准教授	哲学とは何か 1.哲学的に考えるとどのようなことかを説明できる。 事前学修：資料として配布する文献を読み、疑問点を箇条書きにする。 事後学修：講義を通じて理解できた疑問点に対する解答をまとめる。
9/11	木	2	哲学分野	林 研 准教授	科学と医学 1. 科学（物理学、生物学、進化論など）が用いる方法について、また科学一般と医学との関係について説明することができる。 [RE-02] 事前学修：資料として配布する文献を読み、疑問点を箇条書きにする。 事後学修：講義を通じて理解できた疑問点に対する解答をまとめる。
9/18	木	2	哲学分野	林 研 准教授 三浦 康宏 助教	心と身体（1）病気と人間 1.病気の理解の仕方にとどのようなものがあるかを説明することができる。 [C-4-1-1] 事前学修：資料として配布する文献を読み、疑問点を箇条書きにする。 事後学修：講義を通じて理解できた疑問点に対する解答をまとめる。
9/25	木	2	哲学分野	林 研 准教授	心と身体（2）心身問題 1. 心と身体の関係について説明することができる。 事前学修：資料として配布する文献を読み、疑問点を箇条書きにする。 事後学修：講義を通じて理解できた疑問点に対する解答をまとめる。

10/2	木	2	哲学分野	林 研 准教授	心と身体（３）生と死 1.生と死の関係について説明することができる。 事前学修：資料として配布する文献を読み、疑問点を箇条書きにする。 事後学修：講義を通じて理解できた疑問点に対する解答をまとめる。
10/23	木	2	哲学分野	林 研 准教授	心と身体（４）心の哲学 1.心をどのように理解しうるのかを説明することができる。 事前学修：資料として配布する文献を読み、疑問点を箇条書きにする。 事後学修：講義を通じて理解できた疑問点に対する解答をまとめる。
10/30	木	2	哲学分野	林 研 准教授	性差と幸福（１）よい生き方とは 1.よい生き方についてのいくつかの考え方を説明することができる。 事前学修：資料として配布する文献を読み、疑問点を箇条書きにする。 事後学修：講義を通じて理解できた疑問点に対する解答をまとめる。
11/6	木	2	哲学分野	林 研 准教授	性差と幸福（２）幸福論 1.代表的な幸福の捉え方について説明することができる。 事前学修：資料として配布する文献を読み、疑問点を箇条書きにする。 事後学修：講義を通じて理解できた疑問点に対する解答をまとめる。
11/13	木	2	哲学分野	林 研 准教授	性差と幸福（３）フェミニズム 1.フェミニズムの基本的な考え方を説明することができる。 事前学修：資料として配布する文献を読み、疑問点を箇条書きにする。 事後学修：講義を通じて理解できた疑問点に対する解答をまとめる。

11/20	木	2	哲学分野	林 研 准教授	性差と幸福（４）性と社会的健康 1.性と社会的健康の関係について説明することができる。 [PR-02] 事前学修：資料として配布する文献を読み、疑問点を箇条書きにする。 事後学修：講義を通じて理解できた疑問点に対する解答をまとめる。
-------	---	---	------	---------	--

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	指定教科書はありません。			

・成績評価方法

【総括的評価】平常点 20%（受講態度/課題提出など）＋全講義終了後レポート 80%

【形成的評価】講義毎の提出物等で理解度を確認し、フィードバックする。

・特記事項・その他

本講義では、講義内容の理解を深めるため、毎回受講生に課題を出し、関連するテーマについて各自の考えをまとめてもらう。また講義についての疑問点等がある場合は、合わせて記載し、提出してもらう。課題の内容や疑問点の内容については、次回の講義の中で適宜とりあげ、解説を行う。レポートの結果については、講評および全体的に理解度の低かったポイントに関する解説文を WebClass に掲載し、特に内容が不十分であったレポートについては個別に指導を行う。

なお、各回配布される文献については時間をかけていねいに事前学修を行うこと。事前事後学修は毎回同じ作業であり、各回 120 分程度の時間を要する。最終レポートの作成には 300 分程度を要する。

形成的評価として、上記のように講義毎の提出物等で理解度を確認し、フィードバックする。

当該科目に関連する実務経験の有無 無

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノートパソコン（ThinkPad E14Gen5）	1	講義プレゼンテーション
講義	デスクトップパソコン（Mac mini MMFJ3J/A）	1	講義資料作成、他